

## すきなこと どんどんふやして おおきくなあれ

[ 2024年度「こどもまんなか 児童福祉週間標語」最優秀作品 加藤 共泰 さん(6歳) 香川県 ]

### 第3回八幡浜市いじめ対策委員会報告

2月27日(木)、第3回市いじめ対策委員会を開催し、1年間の取組を振り返りました。各ブロックからは、今年度の活動を振り返り、成果や課題について報告がありました。以下に、その概要を紹介します。八幡浜市いじめ対策委員会としての会議は、今回で最後となります。来年度からは新しい組織での会議を予定しています。

#### 【愛宕ブロック】(愛宕中・白浜小・江戸岡小)

- 各小中学校とも、子どもたちは、それぞれ学校が実施している諸活動に積極的に参加しながら、元気に毎日の生活を行っているという報告があった。
- 交番からは、4月の三中学校の統合を控え通学路が大きく変わることから、交通安全等で警戒することが増えるであろうという報告があった。各校での何らかの対応が必要であろうと思われる。
- 子どもたちのSNSやインターネットの使い方が共通の話題となった。保護者からは、家庭での決まりが十分に決められていないため、生活習慣が乱れがちになるという心配の声が多かった。

#### 【八代ブロック】(八代中・松蔭小・神山小・川上小・真穴小・双岩小)

- いじめに関しては、各校大きな変化はないが、小学校にて2件の認知事案があったと報告があった。小中学校に関しては、長期欠席児童生徒数が1名増ということであった。統合を控えている状況であるので、より一層連携しながら児童生徒の指導支援に当たっていきたくと考えている。
- 子どもたちの声が聞こえなくなったという意見があったのだが、地域が動かないといけない。挨拶も然りである。催し物や行事を通して、地域の伝統文化に触れる機会を創出するなど、工夫が必要である。より地域に関わってほしいと声を上げるべきである。

#### 【松柏ブロック】(松柏中・千丈小)

- 学校行事等で生徒が活躍する様子に対して、保護者や地域の方から称賛の声をいただいている。規模を拡大して行った牛鬼巡行や文化祭での取組などで、見守り支えていただいている方々に感謝を届けられたと思う。
- 千丈駐在所より、来年度から、八幡浜中学校の通学路が新しくなることにより、交通事故が心配される。中学校と連携を取りながら交通安全に留意していきたくということであった。
- 学習部会では、八幡浜市出身の音楽家、宮本益光さんを講師に、1月29日(水)の午後、千丈小学校体育館で「ふれあいいきいき講座」を開催した。家族への感謝、周囲との関わりのありがたさ、平和や命の大切さなどをたくさん語ってくださり、改めて自分自身を見つめ直すきっかけをいただいた。

#### 【保内ブロック】(保内中・喜須来小、日土小、川之石小、宮内小)

- 各学校とも2学期末から流行していたインフルエンザも治まってきたようであり、楽しく学校生活を送っているようである。この時期にマラソン大会があるが、練習・本番ともに一生懸命に頑張る児童の姿から、健やかに成長していることが実感された。
- 登下校の児童の見守りを地域の方々がよくしていただいております。気付いたこと等を学校に伝え、学校が迅速に対応することができている。連携がよく取れている。
- 保内交番からは、LINEを使った詐欺が子どもたちにも迫ってきているとの情報があった。使用時には、十分に気を付けるよう家庭でも気を付けていただきたいとのことであった。

### 八幡浜市いじめ対策委員会の活動総括

八幡浜市いじめ対策委員会の今までの活動を総括し、事務局が次のように報告しました。

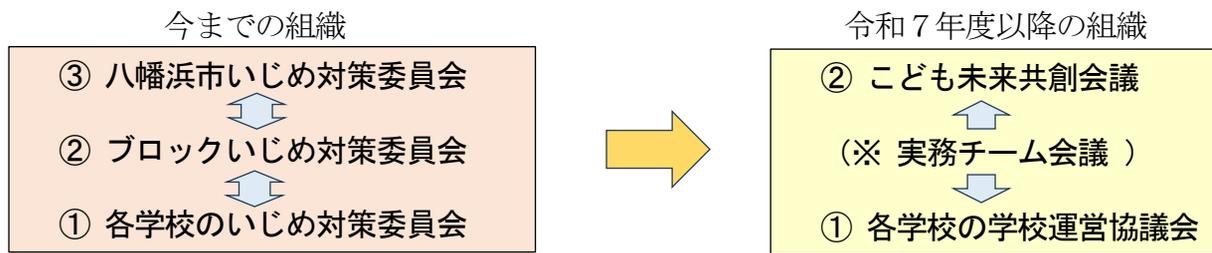
- 昭和60年頃、全国的にいじめによる自殺が相次ぎ、いじめ問題が社会問題として顕在化した。これを受け、臨時教育審議会(昭和61年)でいじめ問題が審議され、道徳教育や生徒指導の強化など、初期の対応が始まった。八幡浜市においても、この国の動きを注視し、いじめ問題への対策を検討し始めた。
- 平成6年頃になると、国レベルでいじめ対策の模索が始まり、スクールカウンセラーの導入や実態調査などが推進され、八幡浜市でもこれらの動向を踏まえ、いじめ対策の在り方を模索し始めた。
- 平成8年、市内中学校でいじめが原因と思われる痛ましい事故が発生した。この事故を契機に、八幡浜市では八幡浜市いじめ対策委員会が発足し、三層の情報還流方式によるいじめ対策、提言の発出、教育相談室・いじめ110番の設置、そして市民啓発紙「さるびあ通信」の発行など、多岐にわたる対策がスタートした。
- 平成17年度には、八幡浜市と保内町が市町合併し、保内ブロックが新たに加わり、8ブロック体制となった。
- いじめ自殺が社会問題となり、世論が法整備を後押しする中で、平成25年、いじめ防止対策推進法が施行された。八幡浜市では、この法律に基づき、いじめ防止基本方針を策定するなど、具体的な対策を進めてきた。
- 全国では、ネットいじめ対策などが進む一方で、いじめ認知件数は高止まりとなり、教員の多忙化、いじめの潜在化などの新たな課題も顕在化した。このような中で、八幡浜市では「スマートフォンやゲーム機等の安全・安心な利用のための提言」を行い、情報化社会における新たな課題への対応も開始した。
- 令和2年からは、新型コロナウイルス感染症が拡大し、委員会運営にも大きな影響が出た。校内・ブロックいじめ対策委員会は、書面開催が増加し、情報連携が一方通行になる傾向が見られた。
- 令和7年度、愛宕中、八代中、松柏中の統合により、中学校区が広域化することから、ブロック体制の見直し、そして委員会・体制の在り方について抜本的な検討が必要となった。

#### 【成果と課題】

- 三層の情報還流方式は、八幡浜市のいじめ対策の中核であり、地域社会との対話の文化は、八幡浜市のいじめ対策の大きな特徴であった。委員会やブロック別協議を通じて、学校、家庭、地域社会、行政の関係者が継続的に意見交換を行い、課題を共有し、連携を深めることができた。
- あいさつ運動も続けてきた。あいさつ運動は、子どもたちの社会性を育むだけでなく、地域全体の連帯感を高める効果も期待できるものであった。
- 長年の活動によるマンネリ化は、避けて通れない課題であった。委員会やブロック会合が形式化し、新鮮さや活気が失われつつあるという指摘が続いており、協議の形骸化も問題であった。
- 新たな課題への対応も、喫緊の課題となってきた。児童虐待、教員多忙、情報化社会、貧困問題など、いじめ問題を取り巻く環境は大きく変化しており、これらの多様化する課題に的確に対応していく必要が出てきた。

## 【 令和7年度からのいじめ対策に係る新組織 】

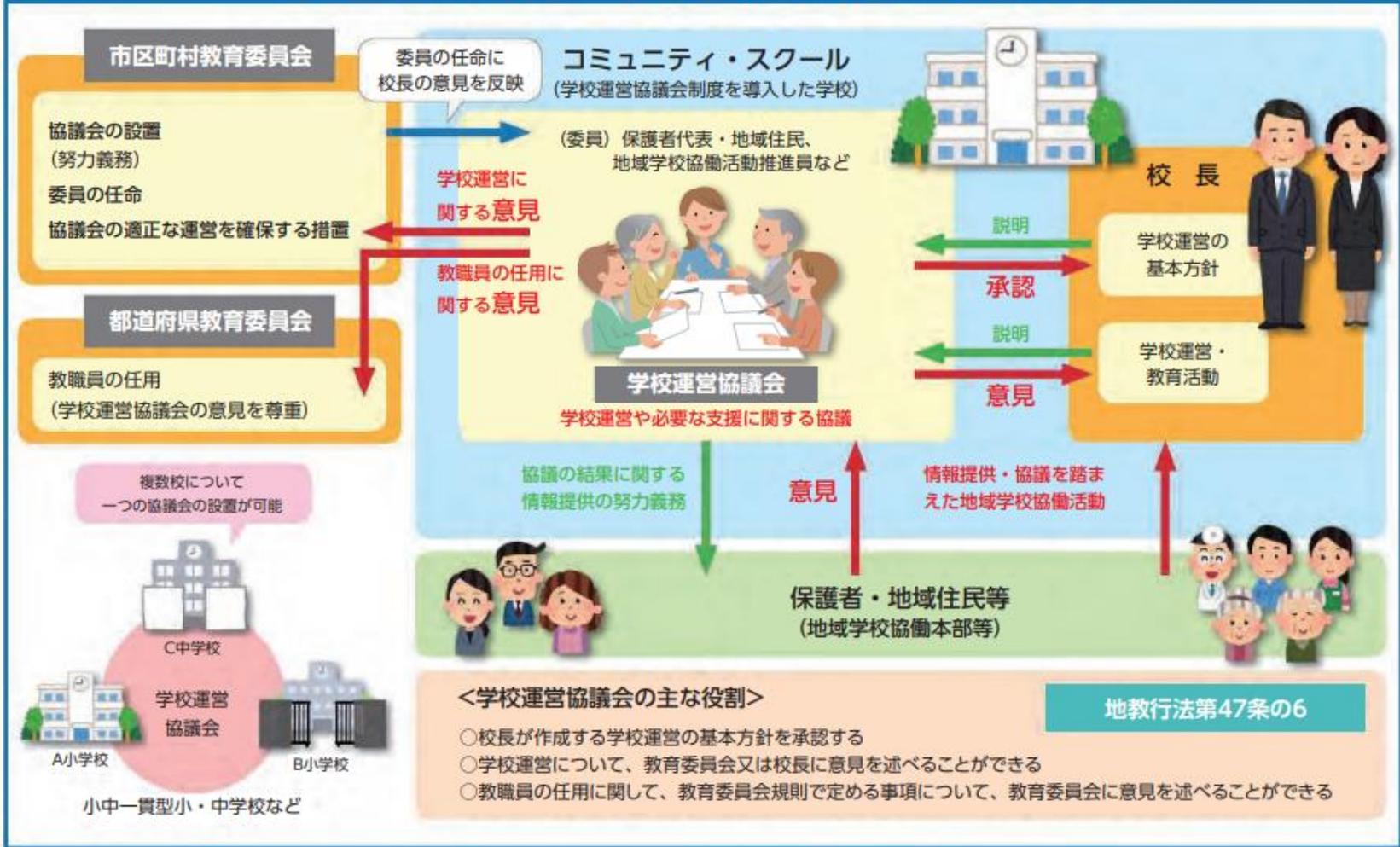
これらの活動の成果と課題を踏まえ、令和7年度からは、ブロックいじめ対策委員会を廃止し、三層情報還流方式から二層に変更になります。



- ① 学校運営協議会 …… 令和7年度からのコミュニティ・スクールの導入に伴い、地域全体で学校運営を支える組織（下図参照）
- ② こども未来共創会議 …… 市いじめ対策委員会に変わる会議（いじめを始めとする多様な教育課題に対応）
- ※ 実務チーム会議 …… 多忙化する学校現場を支援する、また健全育成施策を立案していくために、各機関の実務部隊としての組織

**おいでせ** 令和7年度から、各学校では、コミュニティ・スクールが導入され、学校運営協議会が設置されます。学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていきます。今まで取り組んできた「開かれた学校づくり」から更に一步踏み出し、「地域とともにある学校づくり」を目指します。

## コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の仕組み



ひとりで悩んでいませんか？ お気軽にご相談ください。

- ☆ 電話相談・来室相談（八幡浜市教育委員会教育支援室） ☎ 0894-21-6864 月～金8:30～17:00
- ☆ 心の悩み相談（八幡浜市保健センター成人保健係） ☎ 0894-24-6626 月～金9:00～17:00
- ☆ いじめ相談ダイヤル24（愛媛県教育委員会） ☎ 0120-0-78310 24時間受付
- ☆ 18歳までのチャイルドライン（チャイルドライン支援センター） ☎ 0120-99-7777 まいにち16:00～21:00
- ☆ やわたはま元気ノート（児童生徒のタブレット端末を利用したセルフチェックとSOSなんでも相談の実施）
- ☆ 心の悩み110番（八幡浜市教育委員会教育支援室） ☎ 0120-805-415 月～金8:30～17:00
- ☆ 警察安全相談（八幡浜警察署） ☎ 0894-22-0110 24時間受付
- ☆ こどもの人権110番（法務局） ☎ 0120-007-110 月～金8:30～17:15
- ☆ 児童相談所全国共通ダイヤル（厚生労働省） ☎ 189(いちはやく)児童虐待通報電話24時間受付

